



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月30日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
コード番号 6111 URL <https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）神谷 真二
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理統括部長 （氏名）青木 潤 TEL 0561-52-5356
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,007	3.5	△53	—	△9	—	693	—
2025年3月期中間期	4,838	△15.7	△51	—	△6	—	△7	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	283.04	—
2025年3月期中間期	△3.11	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	23,339	13,993	60.0
2025年3月期	20,012	14,170	70.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 13,993百万円 2025年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期（予想）			—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	11.3	△80	—	△30	—	670	132.9	278.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	3,088,739株	2025年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	740,142株	2025年3月期	600,092株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	2,448,633株	2025年3月期中間期	2,488,699株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の継続、金融資本市場の変動及びアメリカの政策動向など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、主に自動機・専用機の売上が増加したものの小口径銃弾の売上が減少したことから、売上高は50億7百万円と前年同期比3.5%の増加にとどまりました。利益面につきましては、工場の基盤強化に向けた費用等がかさみ、誠に遺憾ながら営業損失5千3百万円(前年同期は5千1百万円の営業損失)、経常損失9百万円(前年同期は6百万円の経常損失)となりました。中間純利益につきましては、投資有価証券売却益を特別利益に計上した結果、6億9千3百万円(前年同期は7百万円の中間純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当中間会計期間の売上高は、30億5千2百万円と前年同期比10.2%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、主に水晶振動子関連部品の売上が減少したことから19億2千2百万円と前年同期比1.2%の減少となりました。「小口径銃弾」は、政府の予算執行を受け11億3千万円と前年同期比22.2%の減少となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当中間会計期間の売上高は、19億5千5百万円と前年同期比35.9%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、大型機種の売上が多かったため12億2千万円と前年同期比11.7%の増加となりました。「ばね機械」は、特殊仕様の高価格機種の売上があったことなどから3億2千6百万円と前年同期比47.6%の増加となりました。「自動機・専用機」は、自動車向けが増加したため3億8千9百万円と前年同期比248.9%の増加となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は前事業年度末より33億2千6百万円増加し、233億3千9百万円となりました。これは主に、投資有価証券が6億5千7百万円、受取手形及び売掛金が4億5千2百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が16億7千3百万円、有形固定資産が11億6千4百万円、電子記録債権が5億1千2百万円それぞれ増加したことによるものです。負債につきましては、35億3百万円増加し、93億4千6百万円となりました。これは主に、長期借入金により26億円及び設備関係電子記録債務が4億2千2百万円増加したことによるものです。純資産につきましては、1億7千7百万円減少し、139億9千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億4千3百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が4億2千8百万円減少したこと及び自己株式が2億9千2百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は55億3千1百万円となり、前事業年度末より16億7千3百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は6億9千4百万円となりました。これは主に、税引前中間純利益を8億9千4百万円及び減価償却費を3億3千万円計上したものの、投資有価証券売却益を9億3百万円計上したことによる減少及び棚卸資産の増加により8億7千3百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は2億1千2百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により6億6千4百万円支出したものの、投資有価証券の売却により10億4千6百万円収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は21億5千4百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により2億9千2百万円支出したものの、長期借入金として26億円収入があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年7月31日の「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日2025年10月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,858,402	5,531,552
受取手形及び売掛金	2,021,962	1,569,953
電子記録債権	563,788	1,076,746
製品	561,741	767,521
仕掛品	3,648,453	4,068,439
原材料及び貯蔵品	846,806	1,094,496
その他	121,928	220,175
貸倒引当金	△2,600	△2,500
流動資産合計	11,620,483	14,326,385
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,091,551	2,083,470
機械及び装置(純額)	1,229,195	1,252,917
その他(純額)	1,514,310	2,663,416
有形固定資産合計	4,835,057	5,999,805
無形固定資産	203,225	314,503
投資その他の資産		
投資有価証券	2,963,945	2,306,101
その他	390,239	392,943
投資その他の資産合計	3,354,185	2,699,044
固定資産合計	8,392,469	9,013,353
資産合計	20,012,952	23,339,738

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	617,472	838,878
電子記録債務	878,657	796,993
短期借入金	2,100,000	2,100,000
未払法人税等	82,863	227,184
賞与引当金	187,580	192,497
設備関係電子記録債務	78,731	501,321
その他	822,707	1,147,745
流動負債合計	4,768,011	5,804,621
固定負債		
長期借入金	-	2,600,000
退職給付引当金	731,064	741,224
その他	343,107	200,188
固定負債合計	1,074,171	3,541,413
負債合計	5,842,183	9,346,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	6,201,964	6,745,710
自己株式	△1,265,546	△1,558,247
株主資本合計	12,580,037	12,831,082
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,590,731	1,162,621
評価・換算差額等合計	1,590,731	1,162,621
純資産合計	14,170,769	13,993,703
負債純資産合計	20,012,952	23,339,738

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,838,450	5,007,993
売上原価	4,037,075	4,210,691
売上総利益	801,375	797,301
販売費及び一般管理費	852,645	851,216
営業損失(△)	△51,270	△53,914
営業外収益		
受取利息	290	735
受取配当金	43,575	51,915
固定資産賃貸料	16,551	16,052
その他	3,313	1,777
営業外収益合計	63,731	70,480
営業外費用		
支払利息	7,776	16,665
固定資産賃貸費用	8,545	8,471
為替差損	1,567	-
その他	590	448
営業外費用合計	18,479	25,585
経常損失(△)	△6,018	△9,019
特別利益		
投資有価証券売却益	-	903,134
特別利益合計	-	903,134
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△6,018	894,115
法人税等	1,730	201,050
中間純利益又は中間純損失(△)	△7,748	693,065

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△6,018	894,115
減価償却費	360,022	330,667
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,400	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,407	4,916
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34,991	10,160
受取利息及び受取配当金	△43,866	△52,650
支払利息	7,776	16,665
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△903,134
売上債権の増減額(△は増加)	1,235,882	△61,068
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,866,433	△873,456
仕入債務の増減額(△は減少)	387,557	91,209
その他	△32,284	△133,146
小計	41,651	△675,821
利息及び配当金の受取額	43,986	52,770
利息の支払額	△4,349	△16,792
法人税等の支払額	△104,270	△54,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,981	△694,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△624,234	△664,905
無形固定資産の取得による支出	△69,065	△101,031
投資有価証券の取得による支出	△2,264	△1,660
投資有価証券の売却による収入	-	1,046,047
子会社株式の取得による支出	-	△50,281
その他	△2,974	△15,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△698,538	212,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	2,600,000
自己株式の取得による支出	△151	△292,701
配当金の支払額	△173,355	△148,948
その他	△3,895	△3,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,403	2,154,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,617	54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△901,541	1,673,150
現金及び現金同等物の期首残高	3,985,346	3,858,402
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,083,805	5,531,552

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	精密加工 事業部	機械 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,400,398	1,438,052	4,838,450	—	4,838,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	876	876	△876	—
計	3,400,398	1,438,928	4,839,327	△876	4,838,450
セグメント利益又は 損失(△)	365,877	△47,315	318,561	△369,831	△51,270

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△369,831千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	精密加工 事業部	機械 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,052,986	1,955,006	5,007,993	—	5,007,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	336,964	336,964	△336,964	—
計	3,052,986	2,291,971	5,344,957	△336,964	5,007,993
セグメント利益	253,233	49,740	302,973	△356,888	△53,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△356,888千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。